椿の花通信 第49号

（1才桜 2008.04.06）　（平成22年4月）　（1才桜 2008.04.06）

お陰様で6周年！

お陰様で、皆様のお力添えのもとに6周年を迎えることができました。本当にありがとうございました。「今日も一日笑顔笑顔。われわれの笑顔がきっとだれかの薬になってる。」そんな気持ちで引き続きまた、日々精進していきますので今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。

医者の不養生・・・

がむしゃらに歩んできた6年目でしたが、その終わりに大病をしてしまい、開院後初めてクリニックを緊急休診にしてしまいました。皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことをあらためてお詫び申し上げます。これからまた、息の長いお付き合いを皆様方としていきたいと思っております。そのためにも、自分の健康に注意して無理のない診療をしていきたいと考えております。しばらくは、これまで通りの人数を診療していくことが難しい状況です。皆様には予約がしづらい等のご迷惑をおかけしておりますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。また、今後の診療体制につきましては変更をしていく予定でおります。具体的な方針が決まりましたらお知らせしたいと思いますが、その節は何卒よろしくお願い申し上げます。

診療変更のご案内

集団健診等への出動のため受付終了および開始時間を下記のように変更させていただいております。ご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願い致します。

4月8日（木曜日）	午前：9:00～11:30	午後：予防接種のみ 乳児健診はお休みです
4月14日（水曜日）	午前：9:00～11:30	午後：16:00～17:30 乳児健診はお休みです
4月16日（金曜日）	午前：9:00～11:30	午後：16:00～17:30
4月23日（金曜日）	午前：　休診	午後：通常通り

感染症と人の戦い（産経新聞 2010. 3. 10 朝刊コラム）

私の大学の先輩で感染症学の師である国立感染症情報センター長岡部信彦先生が、麻疹撲滅に関してコラムを載せておりました。その全文をお示しいたします。これを読まれて皆様は何を考えるでしょうか？4 月からまた新たな年度として麻疹風疹混合ワクチンの接種が行われます。小学校就学前児童・新中学 1 年生・新高校 3 年生が 2011 年 3 月 31 日までの間に定期接種を行います。できるだけ早期に接種されることをお勧めいたします。

■ようやく麻疹排除？

江戸の町人文化を彩った錦絵に「はしか絵」と呼ばれるものがある。はしか（麻疹（ましん））を逃れようと神頼みする町人の姿にまじないの文言などが添えられている。当時、子供だけではなく大人にも「命定めの病」として恐れられ、かかったら７５日間、風呂や酒を禁じられたという。古くは平安時代の古典「栄花物語」にも麻疹らしき疫病の記述があり、人類は１０００年以上にわたり、麻疹に苦しめられてきた。

ところが、その“１０００年来”の付き合いに、間もなく終止符を打てるかもしれない。平成２１年、日本の麻疹罹患（りかん）者数が、おそらくは史上初めて１０００人を切り、７４１人となった。日本ではつい１０年ほど前には２０万～３０万人もの発生と、年間１００人前後もの死亡があったと推計される。当時すでに南北アメリカ、隣国の韓国では麻疹排除を成し遂げており、「日本は自動車だけでなく麻疹も輸出する」と何とも不名誉な揶揄（やゆ）を受けてきた。

かつて米国の予防接種会議でそんな日本の状況を問われ「数年先を見てくれ」と告げた覚えがあるが、大きく患者を減らしたのは、多くの方々が予防接種を受け、自身と社会を守る努力をしてくれた、たまものだといえよう。

ただ心配な点がまだある。実は今年度の「麻しん風しん混合（ＭＲ）ワクチン」の予防接種率が、昨年度よりやや下回っている。ＭＲワクチン接種費用は特定の年齢はほぼ公費で賄われている。つまり無料だ。しかし現在対象となっている人（中１と高３相当年齢）は、年度が替わるあと２０日後には「対象外」となってしまう。

熱しやすく冷めやすい青春時代の恋愛を「はしかのようだ」と例えるように麻疹は誰でもかかる一過性の病とのイメージもあるが、重症化のリスクは高い。１０００例に１、２人が死亡し、後遺症を残すこともある。また亜急性硬化性全脳炎（ＳＳＰＥ）と呼ばれる難病は、麻疹感染から数年後に発病し、ゆっくりと神経症状が進んで意識がなくなり、治療法がないままやがて亡くなる。

麻疹患者が２０万～３０万人いれば、そのうち数人がやがてＳＳＰＥを発病する。しかし麻疹患者が７００人程度なら、そのリスクは１００年に１人出る程度にぐっと落ちる。昨年は麻疹による死者も、脳炎発症例も報告はない。麻疹が１０００人を切るということは、この病で亡くなる人がいなくなることにつながるのだ。

ただ、ここで油断してはいけない。麻疹は空気感染で広がり、感染力は強い。予防接種を怠る人が増えると、すきができ、再び感染が広がる。毎年、９５％程度の接種率を保てば、患者発生はほぼゼロに抑えられる。ＳＳＰＥの親の会の人は言う。「皆さんの予防接種がこの先、子供や孫の代がＳＳＰＥになるのを防ぐのだ」と。

今、公費接種できるのは１歳と就学前の５～６歳、中学１年・高校３年生相当の年齢だ。特に高校３年生では３～４人に１人が今年度はまだ受けていない。対象年齢の人は、３月中に駆け込みで、ぜひMRワクチンを受けていただきたい。その接種が、自分の身だけではなく、クラスメートや恋人、ひいてはまだ見ぬわが子も守るのだから。（おかべ　のぶひこ）

日本脳炎ワクチンについて

新しい日本脳炎ワクチンは、2009年6月からすでに導入されております。そして、従来型ワクチンも2010年3月9日をもって製造が中止され、日本脳炎ワクチンは新しいもののみとなりました。ですが、まだ「やらなくても良いワクチン」という話がまことしやかに伝わっております。決して「接種が中止されている」ワクチンではないのです。ワクチンは一本化されており、引き続き定期接種として通常通りに接種をしております。しかし、残念ながらⅠ期（初回1回目・2回目、追加）のみの適応となり、小学校4年生から6年生の間で接種するⅡ期は、2010年3月末現在、使用実績を積み上げている最中のため、接種することができません。Ⅱ期が対象の方々は、今しばらく接種をお待ち下さい。現在接種をお待ちいただいているⅠ期の患者様は、これから夏に向けて蚊に刺されるシーズンを迎えますので、少しでも早い接種をお勧めいたします。ご不明の点がございましたらスタッフにお尋ね下さい。

新しいワクチンについて

①肺炎球菌ワクチン

2010年2月末からようやく日本でも接種が可能になりました。WHO（世界保険機関）では2007年に、このワクチンを定期接種に入れるべき最も必要なワクチンの三つのうちの一つに指定しています（他はヒブワクチンとB型肝炎）。すでに100カ国以上の国々で接種されているワクチンで、そのうち38カ国では定期接種とされており、日本は諸外国から十数年の後れを取っています。肺炎球菌に感染すると最近では抗菌剤が効きにくい耐性菌が増えており、治療が困難で、細菌性髄膜炎になると約10%が死亡、30～40%で重い後遺症を残します。アメリカでは、このワクチンの導入により4年間で肺炎球菌による重症の感染症が94%減少していて、大変有効なワクチンなのです。値段が高いので負担が大きいですが、子どもの健康にはかえられません。詳しい接種方法やスケジュールはスタッフにお尋ね下さい。

②子宮頸ガンワクチン

子宮頸ガンの原因となるヒトパピローマウイルスに対するワクチンで、2009年12月に日本でも接種が可能になりました。国内では、毎年約15000人の女性が子宮頸ガンと診断され、2500人の尊い命が奪われており、特に20～40歳の女性ではガン死亡の第2位となっています。子宮頸ガンは、ガンの中で唯一ワクチンによって予防できる病気です（12歳女児に対して子宮頸ガンワクチンを接種した場合、子宮頸ガンによる死亡数を73.2%減らせるというデータがあります）。性行為経験前に接種することが望ましいため、10～14歳がお勧めとなっています。やはり、値段が高いので負担が大きいですが、ガンになってしまうと通院や入院などによる経済的・精神

的負担は小さくありません。中学校の入学祝いとして接種をするのはいかがでしょうか？これを機会に是非ご検討下さい。お母様の接種も致しますので、詳しくはスタッフにお尋ね下さい。

ワクチンの同時接種について

予防接種を取り巻く状況は、変化が激しく、どうやってスケジュールに組み込んでいくかは大変難しくなっています。諸外国では、何種類かのワクチンを同時に接種することが可能ですが、日本では医師の判断にゆだねられています。一つ一つのワクチンを定められた接種間隔で行うと、特に１歳までのワクチン接種が大変多く、通院も含めて非常に負担になります。定期接種と任意接種の組み合わせ、任意接種と任意接種の組み合わせなどが行えますので、２種類のワクチンを同時接種することをお勧めいたします。接種スケジュールは大変複雑ですので、スタッフにご相談ください。

ポイントとしては、

① 受けられる時期が来たらすぐに受ける
② 流行している病気、かかったら怖い病気を優先する
③ 効率的・効果的な受け方を考える
④ 同時接種ならスケジュールも簡単

です。

身近な「子育て応援」のおすすめ

こどもたちは社会の宝物です。皆さんがちょっとした思いやりを行動に移すことで、こどもたちや子育てに優しい社会を作ることが可能です。あなたなりの子育て応援をしてみませんか？

① 人混みで子どもが泣いて困っているとき、周りがにっこりしたり、「どうしたの？」「かわいいね」などと声をかけたりしてもらうと大変助かります。
② 小さな子どもを連れて階段を昇降するとき、荷物を少し持つなどの手伝いを申し出てもらえると大変助かります。
③ ベビーカーや小さな子どもを連れてドアを開けようとしているとき、ドアを押さえていてもらえると大変助かります。
④ 妊娠中や小さな子どもを抱きかかえているときなど、電車やバスで席を譲ってもらえると大変助かります。
⑤ 電車やバスの乗り降りの際は、先に乗せてもらったり、荷物やベビーカーの上げ下ろしを手伝ったりしてもらえると大変助かります。
⑥ マタニティマークを見かけたら、席を譲るなど配慮をしてもらえると大変助かります。

ちょっとしたことですが、なかなかできないのが実情です。でも、一歩踏み出してみて下さい。

つばきこどもクリニック